奈良 由美子（なら ゆみこ）/ 放送大学大学院生活健康科学プログラム教授

■略歴

1996 年 奈良女子大学大学院博士課程人間文化研究科修了。博士（学術）
(株)住友銀行，大阪教育大学助教授，放送大学准教授を経て 2010 年 12 月より現職。
専門はリスクコミュニケーション論，リスクマネジメント論，レジリエンス研究。災害や事故，環境問題等に関するリスクコミュニケーションの研究と実践活動を行っている。

■主な社会活動（現在）

東京 iCDC 専門家ボードメンバー(リスクコミュニケーションチームリーダー）
内閣官房 サイバーセキュリティ戦略本部 重要インフラ専門調査会委員
内閣官房 サイバーセキュリティ戦略本部 研究開発戦略専門調査会委員
内閣官房 新型インフルエンザ等対策推進会議委員
内閣府 防災スペシャリスト養成企画検討会委員
環境省 中央環境審議会臨時委員
環境省 健康と環境に関する疫学調査検討会（エコチル調査）委員
文部科学省 実社会課題に対応するコミュニケーションの推進事業評価会議委員
科学技術振興機構 SDGs の達成に向けた共創的研究開発プログラム総括補佐
名古屋大学 客員教授

■主な著書

Resilience and Human History: Multidisciplinary Approaches and Challenges for a Sustainable Future, Springer, 2020.（Tetsuya INAMURA との共編著）

『リスクコミュニケーションの現在－ポスト 3.11 のガバナンス』 放送大学教育振興会, 2018.（平川秀幸との共編著）

『改訂版 生活リスクマネジメント－安全・安心を実現する主体として』 放送大学教育振興会, 2017.

『レジリエンスの心理学－社会をよりよく生きるために』(小塩真司ほか編)金子書房, 2021.（「レジリエンスと社会」を分担執筆）